



# 読み聞かせボランティア「まほうのとびら」 お話し会でパネルシアターと大型絵本！



西那須野図書館で読み聞かせを行っているボランティア団体「まほうのとびら」は、新型コロナウイルスの感染拡大以来、その活動を自粛してきましたが、8月7日（土）に開催された「西那須野図書館こどもまつり」で、久しぶりの活動となるお話し会を行いました。14時から約30分間、パネルシアター2作品と大型絵本1冊の読み聞かせを行い、来館した子ども達を楽しませました。



まず初めに披露したのは、「ねずみのよめいり」のパネルシアター。5人で物語を読み、登場してくるネズミや太陽、雲、風などの温かみのある手作りのパネル人形に子ども達は釘付けになっていました。

次に披露したパネルシアターは、「ぼんたのじどうはんばいき」。子ども達の反応を見ながら、4人で物語を読み、子ダヌキぼんたの自動販売機に、ライオンやキツネ、サル、女の子のタヌキが来て、葉っぱを入れて欲しい物を頼むと、王冠やネックレスなどが次々と出てくる演出に子ども達はすっかり引き込まれていました。



最後に、「ともだちや」というタイトルの大型絵本の読み聞かせを行い、この日のお話し会は終了しました。「まほうのとびら」代表の斉藤三重子さんは、「コロナはまだ収束していないが、今日をきっかけに少しずつ活動を再開していきたいと」意欲をみせていました。9月からは、第2土曜日の午後2時から西那須野図書館での読み聞かせ活動を再開しますので、ぜひ遊びに来てください。



※撮影時のみマスクを外しています

